



第191期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日



株式会社 リーガルコーポレーション

証券コード7938

事業ミッション

靴を通して、お客さまに、足元から美と健康を提供する。

当社は、1902(明治35)年の創業以来、一貫して靴の企画・製造・販売に従事しております。靴を履物であると同時に文化・生活の創造の原動力のひとつととらえ、新しい価値の提案をし、提供することで事業の発展を図ってまいります。

経営理念

- 私たちは、お客さま第一にマーケット志向で行動する顧客創造企業を目指します。
- 品質重視に徹した靴作りとサービスで、お客さまに安全と安心と満足を提供します。
- コンプライアンスの徹底と、事業を通じての人材の育成に努め、社会の皆さまから高い信頼を得る企業を目指します。

社長ご挨拶



2023年6月

代表取締役社長

安田直人

皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援をたまり厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症を起因とした経済活動の制限緩和に伴い、個人消費の伸長が期待されましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、急激な円安による為替相場の変動等により消費者物価は上昇し、先行きの不透明な状況が続いております。

靴業界におきましても、行動制限の解除により消費動向は回復基調となったものの、消費者物価の上昇に伴う慎重な購買行動や原材料価格、商品仕入原価の高騰等により厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、抜本的な構造改革による収益性の早期改善を重点課題に掲げ、グループ全体の経営資源の再配分等を行うことで各種コストの削減を図るとともに、棚卸資産の圧縮を図ることで在庫効率の改善を推し進めております。更にデジタルマーケティングの推進に注力し、顧客経験価値の向上と店頭売上を重視したビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。

外部環境の変化が激しく、将来を見通すことが困難な時代ですが、中長期の視点から事業をとらえ直し、そのなかで果たすべき役割、あるべき姿を描き、その実現に向けた取り組みを着実に推進し、従業員一人一人の成長をとらえて、持続可能な社会への貢献とお客さまに信頼される会社を目指して「変革」に臨んでまいります。

今後とも、変わらぬご支援、ご愛顧をたまりますよう、よろしくお願い申し上げます。

役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長	安田直人
取締役	浦聖貴
取締役	青野元一
取締役	白崎裕公
取締役	横尾厚史
取締役	小林真一郎
取締役(社外)	山本真
取締役(社外)	上田美帆
常勤監査役	古賀辰哉
常勤監査役	内堀慎一(新任)
監査役(社外)	中川ゆき子(新任)
監査役(社外)	西田章(新任)

関係会社 (2023年4月1日現在)

卸売子会社

株式会社リーガル販売

小売子会社

株式会社リーガルリテール

上海麗格鞋業有限公司

生産子会社他

岩手製靴株式会社

岩手シューズ株式会社

チヨダシューズ株式会社

株式会社ニッカエンタープライズ

株式会社リーガルビジネスサポート

蘇州麗格皮革制品有限公司

香港麗格靴業有限公司 他

業績のハイライト

当期におきましては、行動制限の解除に伴い対面型サービスへの需要も回復し、小売店舗や百貨店の集客は改善に向かい、段階的な人流の増加によりオフィス需要やオケージョン需要も増加したことなどから売上高は22,561百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

利益面につきましては、原材料価格や物流コスト、商品仕入原価の高騰等がありました。一部商品の価格改定や在庫効率改善施策を実施したことなどにより、営業利益は293百万円(前年同期比83.9%増)、経常利益は401百万円(前年同期比34.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は491百万円(前年同期比254.2%増)となりました。

(単位:百万円)

業績の推移	2022年3月期	2023年3月期
売上高	20,814	22,561
売上総利益	9,720	10,812
販売費及び一般管理費	9,560	10,518
営業利益	159	293
経常利益	299	401
親会社株主に帰属する当期純利益	138	491

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少などがありました。税金等調整前当期純利益を計上したことなどにより102百万円の増加(前年同期比93.3%減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得などにより、485百万円の支出(前年同期は45百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済などにより、884百万円の支出(前年同期は593百万円の支出)となりました。

この結果、当期末の現金及び現金同等物は前期末比1,212百万円減の6,597百万円となりました。

(単位:百万円)

キャッシュ・フローの推移	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,543	102
投資活動によるキャッシュ・フロー	45	△485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△593	△884
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	54
現金及び現金同等物の期末残高	7,809	6,597

財務のハイライト

総資産につきましては、借入金の返済などにより現金及び預金の減少があったものの、無形固定資産の取得などにより、前期末比116百万円増の27,500百万円となりました。

負債につきましては、借入金の減少などにより、前期末比565百万円減の16,536百万円となりました。

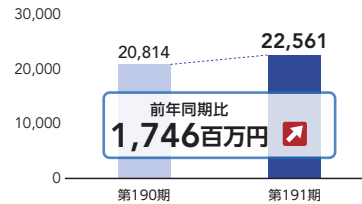
純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加などにより、前期末比682百万円増の10,963百万円となりました。

自己資本比率は39.6%と、前期末比2.3ポイント増加いたしました。

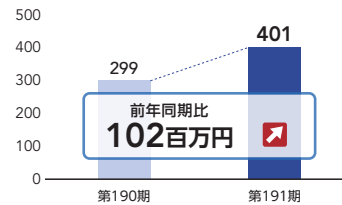
(単位:百万円)

財務の推移	2022年3月期	2023年3月期
流動資産	17,835	17,137
固定資産	9,547	10,362
資産合計	27,383	27,500
流動負債	10,615	10,566
固定負債	6,485	5,970
負債合計	17,101	16,536
純資産	10,281	10,963
負債及び純資産合計	27,383	27,500

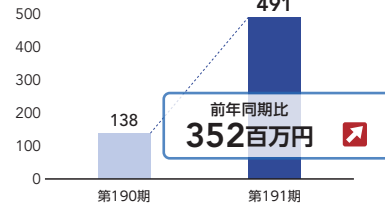
売上高 (百万円)



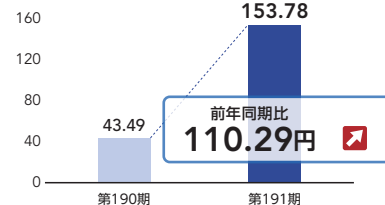
経常利益 (百万円)



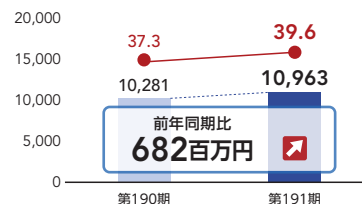
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



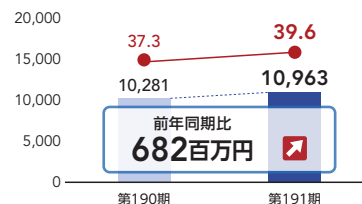
1株当たり当期純利益 (円)



純資産額 (百万円)



自己資本比率 (%)



REGALファンミーティングの目的

「私たちは、お客さま第一にマーケット志向で行動する顧客創造企業を目指します。」という経営理念を実践するために、短期施策ではなく、中長期的な視点に立って企業価値の向上を図る施策のひとつとして、顧客経験価値の創造と顧客とのコミュニケーション強化を図ることを目的としています。

ファンミーティングは常に、参加した方々全員が楽しい時間を過ごすことを目指し、そんな時間のなかで、ファンの声に耳を傾けファンを深く知ろうとすること、あらゆるコンテンツを通じて積極的な情報開示をすること、企業やブランドへの信頼度やファンであることに対する自信を深めていただくことを目指します。

そして今年2月、新浦安本社において、第4回REGALファンミーティングを開催いたしました。詳細につきましては、下記QRコード「REGALファンミーティング」からご覧いただけます。更に、当日の様子は「スペシャルムービー」(YouTubeに遷移します)でもご覧いただけますので、併せてご確認ください。



「REGALファンミーティング」
はこちら



「スペシャルムービー」
はこちら



新製品のご紹介

快適性とデザイン性を追求した
「リーガル」オリジナル
「ヴィブラム『ガムライト』ソール」シリーズ



「ヴィブラム『ガムライト』ソール」は、グリップ力とクッション性に優れた合成ゴムアウトソールです。

「リーガル」オリジナルでは、その機能性をキープしたまま、ドレスシューズにもなじむミニマルなデザインに仕上げました。細身の木型にも収まるようボリューム感や貼り付け位置も調整し、スタイリッシュな見栄えになるようこだわっています。

履いた瞬間、歩き出した瞬間の心地よさを、ぜひ一度体験してみてください。



中) 15DL CJ ウイングチップ
ブラック、ダークブラウン、
スコッチダークブラウン
33,000 円(税込)

左) 22DL BF ローファー
ブラック、ダークブラウン
28,600 円(税込)

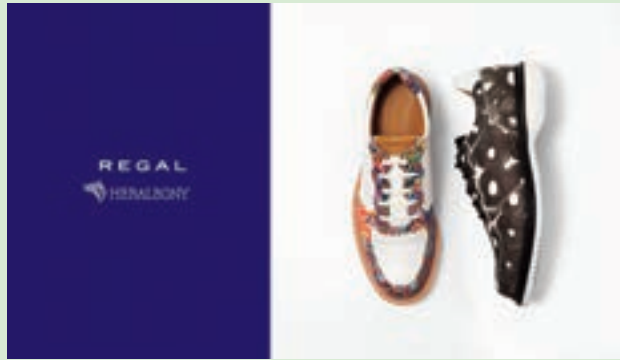
右) 11DL CJ ストレートチップ
ブラック、スコッチブラック
33,000 円(税込)

「リーガル」オリジナル
「ヴィブラム『ガムライト』ソール」
の詳細はこちら



コラボレーションモデルのご紹介

岩手県発の「HERALBONY」との
コラボレーション第2弾は
メンズシューズを展開



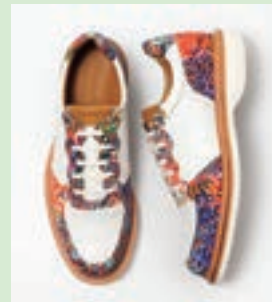
国内外の福祉施設に在籍するアーティストとともに、新たな文化の創造を目指す岩手県発のアートライフスタイルブランド「HERALBONY」とのコラボレーションにメンズシューズが加わりました。

岩手の地に根ざした「HERALBONY」の文化を醸成し、地方都市から世界に発信を続ける姿勢に、同じく生産拠点のひとつを岩手県盛岡市に持つ当社が共感、賛同し実現しました。同じ岩手の工場での生産からREGAL SHOES盛岡店での販売と、地域を軸に展開しています。

※REGAL ONLINE SHOPでも販売しています。



06BL HB スニーカー
ブラック×ホワイト
44,000 円(税込)



06BL HB スニーカー
マルチカラー
44,000 円(税込)

コラボレーションモデル
の詳細はこちら



サステナビリティへの取り組み

ロングユースの思いを込めて。
アップサイクル&リセールプログラム
「REGAL Shoe & Co. REBUILT」始動



「REGAL Shoe & Co.」ブランドの靴は、時代や世代を超えて受け継ぐことのできる製品です。かつて繰り返し着用し、今は静かに眠っている愛着のあるシューズ。私たちに託していただくことで修理、メンテナンスを経て「REGAL Shoe & Co. REBUILT」に生まれ変わり、再び次のオーナーの元へと継承されます。私たちのモノづくりのアイデンティティを背景に、新しい価値を吹き込み、ロングユースの思いを込めた唯一無二の製品を受け継いでいくアップサイクル&リセールプログラムが「REGAL Shoe & Co. REBUILT」です。

— リセールまでの流れ



修理

リーガルのリペアファクトリーでお引き取り後のシューズに修理を行います。

修理の必要のない状態の良いシューズ、また修理後のシューズにメンテナンスを施します。

メンテナンス

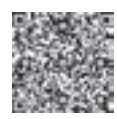


販売

修理やメンテナンスを経て新しい命を得たシューズは、手に取りやすいプライスで店頭で並べられます。

※お引き取り対象ブランドは「REGAL Shoe & Co.」のみとなります。「リーガル」及び他のブランドはお引き取りできません。

お引き取り等、
「REGAL Shoe & Co. REBUILT」
の詳細はこちら

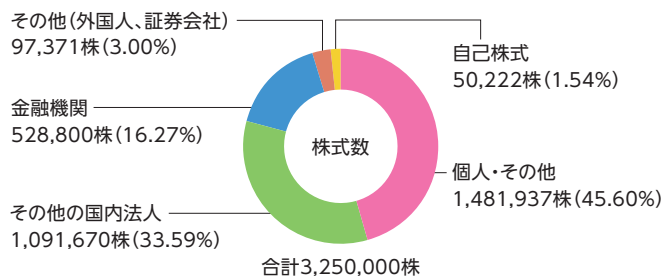
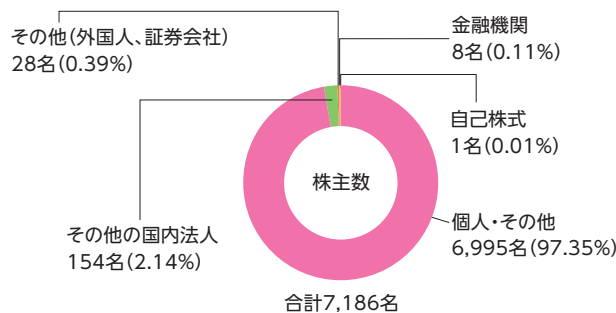


株式の状況(2023年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 13,000,000株
- 発行済株式総数 3,250,000株
(うち自己株式数 50,222株)
- 株主数 7,186名
- 大株主

株主名	持株数(千株)
株式会社ニッピ	465
平和株式会社	159
みずほ信託銀行株式会社	137
中央建物株式会社	108
リーガル取引先持株会	102
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	79
株式会社三菱UFJ銀行	78
株式会社みずほ銀行	68
ミツワ産業株式会社	59
株式会社ダブルエー	50

所有者別分布状況(2023年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	剰余金の配当	3月31日
	(中間配当を行う場合は)	9月30日
公告方法	電子公告 https://www.regal.co.jp/shoes/c/c9001/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
上場証券取引所	東京証券取引所	
単元株式	100株	
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社	
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00~17:00)	
電子提供制度について	https://www.regal.co.jp/w_info/digital_220913 上記URLにアクセスして詳細をご確認ください。	

証券会社等に口座をお持ちの場合住所変更や買取請求等各種手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

単元未満株式をご所有の株主さまへ

ご所有されている株式のうち、単元未満株式につきましては、市場で売買することができませんが、ご希望により買増し又は買取りの請求をしていただくことにより、市場で売買可能な単元株式にすることができます。

(例) 120株をご所有の株主さまの場合

- ↗ 80株を買増請求して200株にする。
- ↘ 20株を買取請求して100株にする。

詳細につきましては、口座を開設されているお取引証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座にて株式をお持ちの株主さまは、特別口座管理機関のみずほ信託銀行にお問い合わせください。

株主優待制度のご案内

年1回、3月31日現在の株主さまに対し、「株主ご優待券」を以下の基準により贈呈いたしております。
「株主ご優待券」は、定時株主総会終了後に発送しております。

	所有株数	1回当たりの贈呈枚数
贈呈基準	100株以上 300株未満	5,000円券1枚
	300株以上 500株未満	5,000円券2枚
	500株以上	5,000円券3枚
ご利用方法	・「株主ご優待券」は当社が運営する小売店舗(一部店舗除く)でご購入代金のお支払いとしてご利用いただけます。 ・「株主ご優待券」のみのご利用の場合は、釣銭のお支払い及び現金とのお引き換えはできません。	
有効期限	発行から翌年6月30日までの1年間	

会社の概況(2023年3月31日現在)

- 設立 1902(明治35)年1月21日
- 本店所在地 〒279-8553 千葉県浦安市日の出2-1-8 047(304)7050(代表)
- 資本金 5,355百万円
- 事業内容 紳士靴、婦人靴、その他各種靴の製造、販売、修理
- 従業員数 179名(連結 970名)
- 事業所 本店 大阪支店
- 当社ホームページ <https://www.regal.co.jp/>

沿革

- 1902(明35)年 1月 機械靴の製造、販売を目的とし、東京市京橋区鎗屋町(現 東京都中央区銀座)に「日本製靴株式会社」を設立。
- 1903(明36)年 2月 本店を東京府南足立郡千住町中組(現 東京都足立区千住橋戸町)に移転。同所に本社工場を新設し、同年5月軍靴の生産、販売開始。
- 1945(昭20)年 10月 終戦により民需靴に全面転換。主にグッドイヤーウエルト式製法で紳士靴の生産、販売開始。
- 1958(昭33)年 8月 わが国で初めてダイレクトバルカナイズ式製法を導入。1960(昭35)年より同製法による安全作業靴の生産、販売開始。
- 1961(昭36)年 11月 米国ブラウン社(現 クラレス社)とリーガル・シューに係る技術導入契約を締結。「リーガル」ブランド各種紳士靴の生産、販売開始。
- 1970(昭45)年 10月 REGAL SHOES1号店を東京駅八重洲口に出店。
- 1972(昭47)年 1月 「リーガル」ブランド婦人靴の生産、販売開始。
- 1973(昭48)年 9月 REGAL SHOESフランチャイズチェーン事業開始。
- 1990(平2)年 4月 米国ブラウン社(現 クラレス社)より「リーガル」ブランドの商標権を取得。
- 10月 社名を「株式会社リーガルコーポレーション」に変更。
- 12月 株式を店頭登録。
- 2004(平16)年 12月 ジャスダック証券取引所(現 東京証券取引所)に株式上場。
- 2005(平17)年 7月 中国上海市に「上海麗格鞋業有限公司」を設立。
- 9月 「リーガル」ブランドの海外1号店を中国上海市に出店。
- 2006(平18)年 10月 香港に海外調達の拠点として「香港麗格鞋業有限公司」を設立。
- 2008(平20)年 4月 中国江蘇省に海外生産拠点として「蘇州麗格皮革制品有限公司」を設立。
- 2010(平22)年 8月 本店を千葉県浦安市に移転。
- 2012(平24)年 9月 紳士靴ブランド「シェットランドフォックス」1号店を出店。
- 2016(平28)年 6月 紳士靴ブランド「ケンフォード」1号店を出店。
- 2017(平29)年 9月 大阪支店を大阪市中央区に移転。
- 2019(平31)年 4月 販売会社3社(「株式会社フィット東日本」、「株式会社フィット近畿日本」、「株式会社タップス」)を統合し、商号を「株式会社リーガル販売」に変更。
小売会社である「株式会社ニッカ」の商号を「株式会社リーガルリテール」に変更。
- 2022(令4)年 4月 東京証券取引所スタンダード市場に株式上場。
- 2023(令5)年 4月 「株式会社リーガルリテール」を存続会社とし、小売子会社2社(「株式会社リーガルリテール」、「東北リーガルシューズ株式会社」)を統合。